

沖永良部島の魚類相調査

本村浩之

Ichthyofaunal Survey in Okinoerabu Island, Amami Islands

MOTOMURA Hiroyuki

鹿児島大学総合研究博物館
The Kagoshima University Museum

要旨

2016年7月11日から20日にかけて沖永良部島の魚類相調査を行い、297種847個体の魚類を採集した。同島の周辺海域には奄美群島の他の島嶼で見られるサンゴ礁性浅海魚が卓越することが確認された。淡水域では外来のカダヤシ科3種（カダヤシ、グッピー、サザンブラティフィッシュ）が定着していることが確認された。

はじめに

琉球列島は日本の中でも魚類の種多様性が最も高い海域であることが知られている。特に奄美群島は八重山諸島とならび魚類の多様性が高い(MOTOMURA2016)と考えられているが、奄美大島(NAKAE *et al.* 2018)と与論島(本村・松浦 2014)を除く奄美群島の魚類相調査はほとんど行われていなかった。そこで、奄美群島全域の魚類相を明らかにするために、これまで魚類相調査がまったく行われていなかった沖永良部島の包括的な調査を行った。

方法

2016年7月11日から20日にかけて沖永良部島の魚類相調査を行った。同島では潜水調査で得られた魚を中心に標本とし、さらに釣獲した個体や市場で購入した個体も併せて標本とした。潜水調査によって得た個体をエアレーションで生かしたまま、市場調査および釣りによって得た個体をクーラーボックスで氷冷して、和泊町研修センターに持ち帰り、標本登録、種同定、DNA解析用筋肉切片の採取、展鱗、撮影、固定等の一連の標本作製作業をおこなった。標本は鹿児島大学総合研究博物館(KAUM)に所蔵した。

結果

沖永良部島における8日間の調査により297種847個体の魚類を採集することができた。

特に多くの個体が採集されたのは、スズメダイ科 (116 個体)、ハゼ科 (92)、テンジクダイ科 (91)、イソギンポ科 (90) であり、沖永良部島の典型的な熱帯性浅海魚相が再確認された。まだすべての標本の同定作業は終わっていないが、ホソウバウオやソロイモンガラなどの珍しい種も採集された。ホソウバウオ (KAUM-I. 90045、体長 10.2 mm) は琉球列島では奄美大島と喜界島のみから記録されていたが、今回の調査によって沖永良部島における生息も確認された (藤原・本村 2017)。また、日本未記録のフサカサゴ科イソカサゴ属が 2 個体 (体長 19.4–26.6 mm) 採集され、現在報告を準備中である。

一方、沖永良部島の陸水域における調査では、特定外来種に指定されているカダヤシが 33 個体 (体長 10.9–40.5 mm)、グッピーが 14 個体 (体長 19.1–43.1 mm)、およびサザンプラティフィッシュが 5 個体 (体長 19.0–22.5 mm) 採集され、島内の河川や池に 3 種のカダヤシ科魚類が定着していることが確認された。サザンプラティフィッシュは奄美群島では沖永良部島からのみ知られている (中島・鹿野 2014)。本調査では過去に同島から記録されていたカワスズメ科の外来種ティラピア類は確認されなかった。

以上のように、今回の調査によって沖永良部島の魚類相の概要をつかむことができた。今後は、異なる季節に調査を行い、沖永良部島の魚類相を明らかにするとともに、奄美群島全域の魚類の多様性を解明したい。

引用文献

- MOTOMURA, H. 2016. The ichthyofauna of Yoron-jima Island in the southern extremity of the Amami Islands, Japan, including comparisons with similar nearby regions. In: The Amami Islands: Culture, Society, Industry and Nature (Eds. Kawai, K., Terada, R. and Kuwamura, S.), 71–78, Hokuto Shobou, Kyoto.
- 本村浩之・松浦啓一 2014. 奄美群島最南端の島—与論島の魚類. 648 頁, 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島市・国立科学博物館, つくば市.
- NAKAE, M., H. MOTOMURA, K. HAGIWARA, H. SENOU, K. KOEDA, T. YOSHIDA, S. TASHIRO, B. JEONG, H. HATA, Y. FUKUI, K. FUJIWARA, T. YAMAKAWA, M. AIZAWA, G. SHINOHARA and K. MATSUURA. 2018. An annotated checklist of fishes of Amami-oshima Island, Ryukyu Islands, Japan. *Memoirs of the National Museum of Nature and Science*, in press.
- 中島 淳・鹿野雄一 2014. 沖永良部島における *Xiphophorus maculatus* (Günther, 1866) の定着記録と新標準和名サザンプラティフィッシュの提唱. *魚類学雑誌*, 61: 48–51.